

陳 情 文 書 表

(交通局)

受 理 番 号	1 2 2	受 理 年 月 日	令和2年11月17日
件 名	小山・大塚地域のバス路線の改善		
要 旨	<p>1997（平成9）年、地下鉄東西線開通に伴って山科区から市バスが撤退し、代わりに京阪バスが運行するようになった。地下鉄に近い所は便利になったが、周辺部の大塚学区民は便数の少ない京阪バスに頼らざるを得ず、大変不便になった。住民はマイカー使用のほか、それぞれに不便さをカバーしながら自助努力し、この20数年間を過ごしてきた。</p> <p>近年は高齢化が進み、国の方針に従って運転免許証を返納する人が増えた。そして、小山地域に唯一残っていたスーパーマーケットが数年前になくなり遠方まで買物に行く必要があるため、医療機関や福祉施設に行くため、区役所、郵便局、銀行等への用事のため、老化防止のためにも様々な社会活動に参加するため等、バスを必要とする人は増加している。</p> <p>しかし、大宅から新奈良街道を走る21系統京阪バスは平日の朝8時台と9時台に1本もなく、午前中出掛けたい時間に利用することができない。また、帰り（山科駅発）も本数が足りない。平日は午前8時台から午後6時台までだと4本しかない21系統は生活実態に合わない時刻表になっている。さらに、ちょっと足を延ばすとすれば乗継時間も料金も掛かるという現状は、学生や子育て、現役世代にとって負担が重く不便である。</p> <p>については、京都市においては、以上のような実情をよく理解していたとき、公共交通としてのバスを便利にしてほしいという住民たちの切実な声をしっかりと受け止めて、京阪バスと協議し積極的に改善していくよう、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京阪バス21系統（大宅～小山～山科駅）を1時間に1本以上運行すること。 2 乗継料金割引を山科区でも市内中心部並に実施すること。 <p>なお、以上の内容で集めた署名を京都市長宛てに2,393筆提出した。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	産業交通水道委員会		